

平成29年10月1日
今週のベストショット



また見に来てね\(^o^)/

青松園A レッドサンデーズ 対 三苦ホーネッツ戦

観戦に来てくれた美女お二人♡ 朝早くても見に来てくれることに感謝しないとね!

・・・それと活躍したホーネッツの若手3人。

写真：奈多クラブ 今林 賢人

奈多グラウンド 粘りの力投及びベテラン勢の活躍にてサンデーズ勝利!!

三友クラブ (5勝5敗1分) 000100 1 安達●-谷崎

奈多サンデーズ (4勝6敗1分) 30000× 3 江口○-田中

3BH: 山崎、山本 (三友ク) 2BH: 野々下、木下 (奈多サ)

若手活躍にて勝ち星があがってきた三友クラブ対、今シーズン人数が厳しい奈多サンデーズとの対戦で試合開始。一回表三友クラブは、若手筆頭の平田選手が得意の足で内野安打にていきなり出塁するも、後続が続かず先制点ならず。一方の奈多サンデーズは、二死から三番江口選手が四球を選び続く四番野々下選手の右越え二塁打で早くも先制。続くベテラン木下選手も一塁横を破る二塁打で2点目。鳥羽選手は内野安打で続き、迎えるバッターは御年69歳の前田選手。現役バリの選球眼の良さで、センター前にクリーンヒットで3点目をもぎとる。一方の三友クラブは、二回、三回と江口投手の前に抑えられ、迎えた四回表、試合打席にはなかなか立てていない七番山本選手が、打撃好調とばかりにレフト線三塁打を放ち得点のチャンス。ここでこちらも打席に立てていない駄原選手が、ライト前にもっていき1点! 続く一番平田選手はまたまた内野安打にて続きチャンスを作るが、二番尾澤選手はセンターライナーにて追加点ならず。一方、追加点をとりたい奈多サンデーズ打線だが、二回裏の攻撃において一番長濱選手の放った打球はレフトオーバーかと思えたが、何と三友クラブ松尾選手が背面キャッチなる超ファインプレーにてアウト。三番江口選手のレフト前でホームインかと思われた宮口選手を今度は超レーザービームにてホームタッチアウト!! 圧巻のプレー連発にてサンデーズの追加点を死守した。両投手の粘りの投球で迎えた六回表、三友クラブの攻撃は、六番谷崎選手。何とか出塁したいが力が入りショートフライ。続く山本選手はピッチャーゴロとなり、このまま終わるかと思われたが八番坂本選手がショート悪送球より出塁。

続く駄原選手は死球で、一番平田選手に期待がかかる！しかし、ここで江口投手が絶妙のコントロールで平田選手を三振に切って取りゲームセット！この試合、三友クラブは安打数では上回っていたが、サンデーズ江口投手のコントロールピッチングで打ち取られ残塁が目立った試合展開だった。一方の奈多サンデーズは、人数が少ない中でも、ベテランの活躍で残り2試合に勝利を望む試合展開だった。

(記事：ブルーマーリンズ 末松 勝祝、写真：井上 広大)



奈多サンデーズ江口投手。



三友クラブ足達投手。



一回裏 選球眼も現役！サンデーズ前田選手。



一回裏 御年69歳！前田選手のセンター前ヒット。



二回裏、サンデーズ長濱選手の特大レフトオーバー？



長濱選手のレフトオーバーの打球を超ファインプレーにて満面の笑顔の三友クラブ松尾左翼手。



二回裏、宮口選手をタッチアウトにする三友クラブ谷崎捕手。



三回表、見事な左越え三塁打の三友クラブ四番山崎選手。



四回表、打撃好調の三友クラブ七番山本選手の三塁打！



四回表、三友クラブ九番駄原選手のライト前ヒット！



最終六回表、期待のかかった平田選手も三振で試合終了。



本日ヒーロー！サンデーズ木下選手、前田選手、江口投手！

青松園A 優勝争いで絶対に負けれない試合。ホーネッツ逆転で接戦を制す。

三苦ホーネッツ（10勝1敗）0000030 3 川原○-広木
 レッドサンデーズ（5勝7敗）2000000 2 塚本●、古賀一八島

HR：古賀（レッド） 2BH：矢野（義）

三苦ホーネッツは絶対に負けれない一戦だが、一回裏にレッド古賀選手に先制パンチの2ランを喰らい2点を追う展開。三回表ホーネッツも矢野（義）の二塁打でチャンスを掴む。続く井手（涼）選手のショートへの内安打でチャンス拡大かと思われたが、矢野（義）選手がオーバーランでタッチアウトとなり無得点に終わる。ホ

一ネットは続く四回もヒット2本で一死一三塁のチャンスも、盗塁失敗などでまたもや無得点。早々に追いつきたい焦りからか、攻撃が空回りし流れを変えることができない。しかし、六回表ようやくヒットにバントをからめ無死満塁と最大のチャンス。ここでタッチアップにて1点を返すと堺（恭）選手のセンター前タイムリーで一気に逆転に成功。レッドサンデーズも初回以降、ホーネット川原投手の前になかなかチャンスをつかめない。最終回エラーのランナーを出し何とかしたいところであったが、盗塁失敗し後続も倒れ試合終了。ホーネットは再三チャンスを作りながらも得点が入らない苦しい展開であったが、何とか勝利をものにして優勝戦線に踏みとどまった。（記事：奈多クラブ 吉田 貴史、写真：今林 賢人）



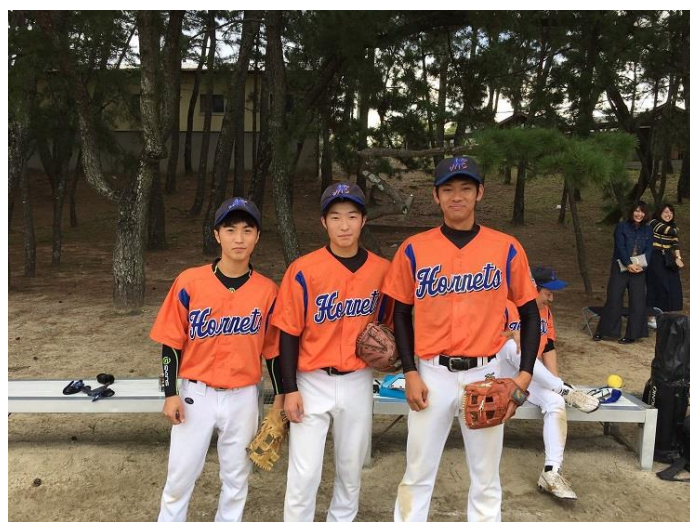
激闘終了。監督同士の握手。



14奪三振のホーネット川原投手と広木捕手。



この試合3安打のホーネット稲葉選手。



活躍を見せるホーネット井手、川原、堺選手。背の順？

レク軟式7 リーグ屈指の投手戦！

三苦フレンズ（9勝2敗）1100000 2 山口○ー佐藤（由）

新町ウインズ（9勝4敗）0000010 1 藤田●ー吉浦

HR：御手洗（文）（三苦フ） 藤田（新町ウ） 2BH：吉村（雄）（三苦フ） 盗塁：佐藤（博）（三苦フ）

新町ウインズ藤田投手、三苦フレンズ山口投手のリーグ屈指の好投手同士による注目の一戦。投手戦が予想されたが一回表フレンズは先頭の一番吉村（雄）選手が左二塁打を放ち出塁すると、続く二番田中選手は死球で出塁。三番生野（拓）選手は犠打を成功させ、一死二三塁と好機を演出。続く四番佐藤（由）選手の打席で暴投により三塁走塁が生還し藤田投手の立ち上がりを攻め1点を先制。佐藤（由）選手は四球で出塁し、一死一三塁となおも追加点のチャンス。ここで五番山口選手の放った打球はセンターへ。犠飛になるかと思われたが、ウインズのセンター桐島選手の好返球により本塁で刺殺されてしまう。ウインズは桐島選手の好プレーにより一回表は

1点で凌ぐものの、二回表にはフレンズ六番御手洗（文）選手に左中間へソロ本塁打を浴び、あっさり追加点を奪われてしまう。ウインズは三回以降得点を与えなかったものの、フレンズ先発の山口投手の前に五回まで1安打に封じられ、なかなか得点が奪えない。しかし六回裏、七番藤田選手の中越えのソロ本塁打でようやく1点を返す。そして七回裏、今シーズン幾度となくサヨナラゲームを演じてきたウインズではあったが、この時ばかりはフレンズ山口投手の前に三者凡退に打ち取られてしまう。わずかなリードを守りきったフレンズが勝利を手にした。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



試合開始。



新町ウインズ先発の藤田投手。



一回表、バント処理をするウインズ藤田投手。



一回表、ウインズ桐島選手からの好返球でタッチアウト。



一回裏、フレンズ先発の山口投手。



一回裏、ウインズ二番安藤（一）選手のセーフティバント。



二回表、左中間へのソロ本塁打を放った六番御手洗（文）選手。



六回裏、ウインズ七番藤田選手のソロHRで1点を返す。

青松園B 猛打でソルトベスターズ快勝！

ソルトベスターズ（2勝7敗2分） 4 6 4 4 1 1 9 中村（耕）○、黒崎一酒井
 塩浜ジャガーズ （1勝11敗） 1 0 0 1 2 4 内田●、遠藤、道善一橋村

HR：荒尾、中村（健）、真弓（ソルト）内田（塩浜ジ） 2BH：酒井（ソルト）

今季共に1勝と調子が上がらないチーム同士の対戦となったこの一戦。塩浜ジャガーズの先発は内田投手、ソルトベスターズは中村（耕）投手の先発で始まった試合は初回から動いた。ソルトは、安打とエラーとWPで先制すると、ランナーを三塁に置いて、本日四番に入った中村（耕）監督がセンター前タイムリーを放ち追加点。その後もヒット、エラー、WPを絡め打者一巡の猛攻で4点を先制した。その裏のジャガーズは、先頭の竹尾選手が四球を選び、犠打と安打で得点圏のランナーを置き四番佐藤の打球がエラーを誘い1点を返す。その後も追加点が欲しかったが後続が倒れた。二回以降、ソルト打線が猛打をふるい荒尾選手、中村（健）選手、真弓選手のホームランが飛び出し計19得点を奪った。ジャガーズ打線は中村（耕）投手、リリーフした黒崎投手の前に、最終回内田選手のホームランが飛び出すも5安打4得点と抑えられた。勝ったソルトベスターズは、ヒットと長打で大量点を取り、無難な守備で失点を抑えた。負けたジャガーズは、小刻みな継投をみせるもエラーとWPが多く無駄な失点が多かった。（記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬）



ソルトベスターズ先発、中村（耕）投手。



好救援したソルトベスターズ黒崎投手。



リリーフ登板したジャガーズ遠藤投手。



さらにリリーフ登板した道喜投手。



初回、タイムリー安打を放つ中村（耕）監督。



俊足、好守備が持ち味のソルト八柄選手。



最終回、反撃の一発を放ち祝福されるジャガーズ内田選手。



口と叩きつけるバッティングが持ち味の石井選手。



攻守の要ジャガーズ荒木選手。



本日のヒーロー、本塁打を放った真弓選手、荒尾選手。

第22週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第22週、10月1日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの三友クラブ対奈多サンデーズ戦は、初回二死から四球と4連打で一挙に3点を奪ったサンデーズ。追加点を狙うも三友クラブの攻守に阻まれる。しかしサンデーズ江口投手のクレバーなピッチングで三友クラブ打線に7安打を許すも1点に抑え、1-3でサンデーズの勝利。この試合もサンデーズの大ベテランが活躍した。

青松園Aの三苦ホーネッツ対レッドサンデーズ戦は、一〜四番まで20代を揃えたレッドは三番古賀選手の2ランで先制すると、ホーネッツの走塁ミスも手伝い五回までリードする展開。しかしレッド塚本投手の疲れが見えてきた六回表、ホーネッツは一番からの好打順。3連打で満塁とすると犠飛と堺恭介選手の逆転タイムリー。投げては川原投手がレッド打線を初回以降無安打に抑え3-2でホーネッツが優勝戦線に辛くも生き残った。

雁レク7の三苦フレンズ対新町ウインズ戦は、ウインズ藤田投手の制球が定まらないうちに先制点を挙げ、続く二回も六番御手洗選手のソロHRで2点目。この日のフレンズ山口投手にはこれで十分。六回表に藤田投手が意地の一発を放つも、2安打に抑えたフレンズが2-1で勝利。ウインズは9勝4敗で全日程を終了。フレンズは優勝争いのホーネッツ戦が最終戦だ。

青松園Bのソルトベ이스ターズ対塩浜ジャガーズ戦は、どちらが2勝目を上げるかという一戦だったが、ソルト打線が初回から大爆発で15安打3HR19得点を奪う。ソルトは中村（耕）、黒崎投手のリレーでジャガーズ打線を4点に抑え、19-4でソルトの勝利。ジャガーズは新戦力の背番号18・遠藤望投手（18♀）が初登板。今後紅一点の活躍が期待される＼(^o^)/

早くもウインズが13試合を消化した。今年は天候にも恵まれ、11月中に全日程が終了する予定だ。

近年、納会の参加が減ってきているので、各チーム声を掛け合って、より多くの選手に参加してもらいたい。

そのためにも良い終わり方が大事！